



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年10月25日(火)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心もち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

感動をありがとう！第76回体育大会終わる！

秋晴れの22日(土)北九州市立尾倉中学校 第76回体育大会 が挙行されました。尾倉中の生徒のみなさんの2週間の頑張りを讃えるような天気でしたね。みなさんのパワーが雨雲を吹き飛ばしたのでしょうか、全競技を終えることができました。

全校生徒のみなさん、3年ぶりの体育大会はどうでしたか(といっても、中学校の体育大会を経験するのは全員初めてですね)。先生は、閉会式でこう言いました。覚えていますか？

「これが体育大会です。きつかったこと、辛かったこと、うれしかったこと、楽しかったこと。すべて含めて体育大会です」と。競技で頑張った人、係活動で頑張った人、放送で頑張った放送部、いずれにせよ、みなさんは真剣に、楽しく、尾倉中学校生としての自覚をもって体育大会に参加することができたと思います。

今年は、色別対抗(学級対抗形式を含む)で、各色の団長と保健体育委員を中心に取り組んできました。学年練習はもちろん、全体練習でも各クラス必死に練習に取り組むことができました。久しぶりの体育大会が成功するか、失敗するか先生も不安でした。でも、保健体育委員長の野上くんの一言で、『この体育大会は成功する』と確信できました。

それは、校長先生「野上くん、毎日大変だけど、どう？」野上くん「楽しいです！」この「楽しい」という言葉は、野上くんだけでなくたくさんの生徒から聞くことができました。

「楽しい！」なんとすばらしい一言なのでしょう。スポーツは、ともしれば、結果ばかりに目がいきがちです。しかし、彼の言葉からは、『今までの過程を大切にしていきたい』という気持ちが伝わってきました。尾倉中生徒全員がこの体育大会を通じて本当に大きく成長したと思います。競技ですから順位は付きます。しかし、3年生は、このパワーを勉強や入試へとつなげていってほしいと思います。2年生はミドルリーダーとして、立派な態度でした。あなた達なら来年はもっと素晴らしいリーダーになれると思います。1年生、2週間で本当に成長しました。予行練習を見に来た皿倉小の後輩や先生方が驚いていました。

総合では赤組が優勝しましたが、得点は接戦でした。大縄跳びや学級全員リレーでは、クラスの輪を深め、チームワークを高めることができました。みんな本当に頑張りました!!178人全員に校長先生から MVP (Most Valuable Player) を贈りたいと思います。

※裏面は、体育大会の校長先生の話(一部抜粋)紹介しています。

体育大会が終わって、一息(ひといき)つきながら考えてみましょう。尾倉中みんなで頑張ったこの第76回体育大会。「自分はその中で何を学んだのか」あるいは「その中でどこが成長したのか」、このことを自分なりに考えて整理してみることが大切です。先生は体育大会当日下校指導をしていてあることを思いました。「今までの学校は、『ハチマキを取るな』という指導ばかりだったけど、尾倉中の生徒は、体育大会が終わってもハチマキをしたまま下校している。何が違うのか？」

ある生徒は「校長先生、最高の体育大会でした!」と声をかけ、ある生徒は「(ハチマキをはずさないのは)余韻にひたっています!」と話してくれました。

走ることを頑張った人、係活動を頑張った人、部活動(放送部)を頑張った人、応援を頑張った人…自分が頑張ったことと、そこから得たものは何だったのかをきっと理解しているからだと思います。そのことを体育大会だけに終わらせるのではなく、それをどう日常の生活に生かしていけるのか、次の行事にどのように生かせるのかを考えているからこのような前向きな言葉が出るのだと感じました。

体育大会で、集合時間を守ったり、動きや声をそろえたり、みんなで毎日の練習を頑張ることによって、「みんなで頑張ることの大切さ」「積極的にやってみることの楽しさ」「集団としての決まりを守ることの大切さ、すばらしさ」を学んだり、学級全員リレーやダンスに一生懸命に取り組むことで、「全員が一つになること」「頑張ることでは得られない達成感」「一生懸命=思いやり」を学んだことと思います。

このように一つ一つの行事で学んだことを積み重ねていくことが、自分に対する自信につながっていきますし、力になっていくのです。さあ、日々の生活でもっともっと成長してください。

尾倉中の新しい伝統を築いた1・2・3年生に拍手喝采です!

(追記)当日は3年1組の帰りの会に参加しました。「あの」千々和先生が感動する姿を見ることができました。浦田先生はダンスの時に感極まってしまう。実は先生は数名の先生たちに体育大会前にこう言っていました。

「先生たちが最後に泣いたら、泣けるような体育大会だったら成功だよ」と。どの先生もみなさんの活躍に、姿に、競技に、演技に感動していました。

「人を感動させることができるのは、人しかない」

尾倉中の生徒のみなさん一人一人には「人を感動させる力」があることを知っててください。生徒全員で取り組む行事はゲームの世界ではありません。生身の人間同士が集まって行う「温かい活動」です。そして、この「感動させる力」は、これからの社会や世の中がどのように変わっていても「大切なもの」だと思うのです。



【部活動紹介】

おはようございます。まずは、3年間頑張ってきた3年生お疲れ様でした。コロナ禍で十分な練習ができないまま、本当に良く頑張ったと思います。ここまで支えてくれた家族の方々、顧問の先生、コーチ、後輩たちに感謝の気持ちを持ち、種目は違ってもぜひ高校で部活動を続けてほしいと思います。1・2年生のみなさん、新人戦が始まっていますが、先輩から受け継いだものをつなぐだけでなく、ぜひ、1・2年生らしさを出し、それぞれの部で新しい部活動を創り上げてください。そして、尾倉中の部活動としての誇りをもって努力してほしいと思います。以上で、先生の話が終わります。

【開会式】

尾倉中のみなさん、おはようございます。いよいよ体育大会です。この2週間仲間と頑張ってきた成果を十分発揮してください。勝負に勝ち負けはつきものですが、それを超える仲間との絆を深めて、最高の思い出を作ってください。

先生が若い時に先輩の先生から教えられた言葉があります。それは、「人を感動させるのは人しかない」という言葉です。みなさんの笑顔、頑張り、思いやりはきっと周りの友達、家族の方々、先生方に感動を与えてくれると信じています。

最後に、御来場の皆様、朝早くからの参観ありがとうございます。生徒は、限られた時間の中で、主体的に行動し、準備をして参りました。最後まで、生徒の活動に温かい御声援をよろしく願いいたします。それでは、今日1日が最高の日となることを願っています。以上で先生の話が終わります。

【閉会式】

みなさん、本日は暑い中お疲れ様でした。どの学年も、どのクラスも精いっぱい頑張って競技をしたことだと思います。楽しかったこと、勝てて嬉しかったこともあると思います。一方で悔しい思いをした人もいるかもしれません。それはみなさんが全力で体育大会に参加したから生まれた感情です。

3年生は中学最後の運動会で、今日の一つ一つの場面が思い出に残るような演技でした。来年はそれぞれ新たな道を歩んでいきますが、今日培ったチームワークと絆を忘れず仲間を思いやれる人間になってください。

1・2年生は今日からが尾倉中体育大会の伝統の始まりです。今日の気持ちを忘れず、来年は今年以上の体育大会を創り上げてくれることを期待しています。

最後に地域のみなさま、保護者の皆様、最後までご声援を送ってくださり感謝いたします。尾倉中学校生徒、教職員で素晴らしい体育大会を作り上げることができました。ありがとうございました。

以上で、先生の話が終わります。

